

■アルツハイマー型認知症

* 主として記憶障害、見当識障害、注意障害、言語障害
(発語、読み書き等)に起因するもの

症状	支援方法
脳の障害により、聞こえる音を脳でうまく処理することが困難(理解する力が低下)	<ul style="list-style-type: none">・静かな落ち着いた環境を整える・相手の正面から話す
言葉の理解を助ける	<ul style="list-style-type: none">・ゆっくりと1つひとつの言葉を短く伝える・文字や絵を見せてもよい
中期以降になると、言葉だけでは伝わりにくくなる	<ul style="list-style-type: none">・動作をいっしょにみせる

■血管性認知症

*ダメージを受けた部位によって認知症状に差がある。

症状	支援方法
失語症状	聞いてわからなくても見ればわかる、話せなくても書くことはできるなど、 <u>少しでも残された機能を活用する</u>
失行	言葉の説明より目の前で見せることで、うまくいくことがある
意欲低下(アパシー)	関心を向け、声かけなどの刺激を与え続ける 興味や関心を引き出したり、意欲ができるような関わり方をする NG「おとなしいから問題ない人」